



花さき山



タイトル文字：滝平二郎

ブックスタートクラス

☆幼児向けおはなし会

3月 25日⇒10:00～11:30

(たけのこ保育園子育て支援センター)

3月 18日 ⇒10:30～11:00

(朗読サークルかがやき)

音読会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：3月10日(火)

11:00～12:00

気軽に発声練習してみませんか？

大人向けの音読会です。

3月のテーマは、『わらべうた』！



3月のおはなし会

《図書館スタッフ》(児童室)

いつ：3月7日(土)

時間→11:00～11:30

《「やまびこ」さん》(児童室)

いつ：3月15日(日)

時間→11:00～11:30

3月は大人向け映画会

「海よりもまだ深く」

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：3月28日(土) 10:00～

内容：ダメ人生を更新中の中年男、良多。元妻に愛想を尽かされ…良多の母の家に、たまたま集まった良多たち「元家族」は、台風のため帰れなくなり、一夜限りの家族の時間が始まるが…。 (上映時間：120分)
お申込不要です。無料でご覧いただけます。

おとなの図書館体験

場所：明野図書館

日時：3月1日(日)

対象：高校生以上

(※10:00～12:00)

内容：図書館見学・配架・本の修理体験など

申込は不要です

ブックハント

場所：明野図書館

対象：0歳～12歳の図書館利用カードを持っている方

期間：3月3日(火)～3月29日(日)

受付：期間中に明野図書館 カウンターまで来てね(^_^)/

本を探して欲しいです(^)/



図書館ボランティア募集！

R2年度の図書館ボランティアを募集します。

私たちと一緒に図書館をさらに活性化させませんか？

作業内容は、イベントの準備やおはなし会、本の修理などです。興味のある方はぜひ参加して下さい。

時間もご都合に合わせて決められます(*^^)v

まずは、3月の説明会にお越しください。

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：3月6日(金)・7日(土)

11:00～12:00

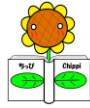
(どちらか1日)

対象：高校生以上

申込：不要

(当日直接、明野図書館にお越しください。)





お楽の方。徳川4代将軍家綱生母 —元下館藩に。ゆかりがあった—

高橋義泰

「お楽の方」はじめは「らくの局」幼名は蘭、父青木三太郎利長は下野国都賀郡上高島村むつや(現栃木市)の處士とされる。小山氏没落後榎本城主本多大隅守忠純に砲術指南役として仕えたがゆえあって浪人となる。榎本城は小山判官宗長が元治元年(1185)8月佐野氏の侵攻に備え築城と云う。生計は狩猟にて立てていたが、御禁制の鶴をとった疑いにより死罪となる。没寛永4年(1627)6月28日32歳であった。のこされた家族は母紫(下野国都賀郡島田村増山織部の娘)長女綱。次女蘭。長男弁之助。次男友之助。紫は古河藩主永井信濃守尚政の旧臣七澤作右衛門清宗と再婚し江戸に来て浅草の辺に住いていた。ある日春日局が浅草観音に詣で目にとまった。春日局の推挙により蘭は13歳の年より御所にまいり、みやづかえを勧められ3代将軍家光の御いつくしみを蒙り「らくの局」と申される。寛永18年(1641)8月3日のちの4代将軍家綱の生母となり「お楽の方」となる。これを基に身分上昇を遂げる人々を記録すると、まずはじめに「お楽の方」懐妊の際に後父七澤作右衛門が富士山御師の三浦家に祈禱を依頼世継ぎ「家綱」が無事誕生、三浦氏は「吉例の御祈禱」を献上したとして、将軍家光、家綱にお目見えし、これ以降江戸時代を通じて将軍への御目見えが許され御礼の献上を行うことになる。そして「お楽の方」一族の身分上昇は弟弁之助寛永20年(1643)はじめて将軍家光に拝謁し、この日家光の命により「増山」の姓を称することになる。(母の旧姓)増山弾正少弼正利と名乗る。初め禄米千俵を賜り、後2千俵と成り、相模国に所領の地を賜る。そして三河国西尾の城主として二万石を領し大名として将軍家綱の奏者番を勤め松平和泉守乗寿(のりなが)の女(むすめ)を妻にむかえている。次の弟友之助は那須家をついで遠江守資弥といい下野烏山藩2万石の城主となった。その長男正弥生まれる承応2年(1653)。伯父西尾城主正利に男子なく寛文2年(1662)7月28日臨終のとき彼の養子となった。同年9月はじめて将軍家綱に拝謁詰衆となった。その時10歳であった。姉の綱は高家品川式部大輔高如(たかゆき)の妻になる。継父作右衛門も養老料として200人扶持を賜る。異父の女は毛利刑部少輔元知の妻に。異父男子は平野権平長勝の養子となり丹波守長政と名乗る。「お楽の方」は承応元年(1652)12月2日32歳の若さでこの世を去った。尚家綱は生母の世を去る1年前11歳で4代将軍となっている。没後「お楽の方」は「花城天栄宝樹院」と号し正2位を贈られ上野東叡山に葬られた。また正利も没後東叡山に葬られた。代々寛永寺が増山家の墓所となった。正利のあと西尾藩主を継いだ正弥公が下館藩主として寛文3年(1663)7月11日移封になり、ようやく下館藩も代官政治から藩政治にかわり、松平頼重が高松に移封後藩主不在に終わりをとげた。この増山氏こそ「お楽の方」が土台となった。浪人から大名に出世ぶりがわかる。弟の子の子正弥公が下館藩主として40年間政治をとられた。下館藩は「お楽の方」の弟たちの出世によりかかわりができていたことになる。

(引用資料。安養院外墓所青木三太郎利長の説明板。中世小山一族。下館市史。下野新聞発行県内の城案内。当時小山市立公民館学芸員酒入陽子氏の由来の生まれる時等)

たかはしよしやす／茨城県西地区年金協会顧問